

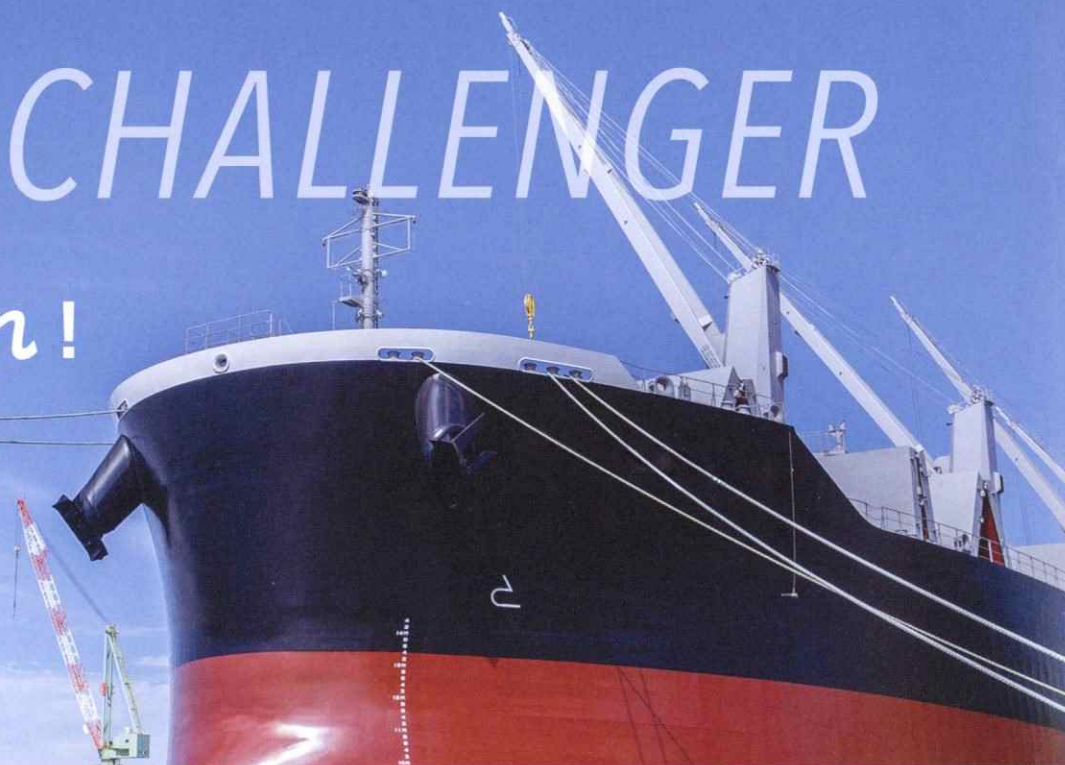
*TADOTSU*  
*SHIPYARD* CO., LTD.

多度津造船株式会社

見渡す遥か彼方に、日本いや世界の歴史をも変える道標がある。世界の海に挑む我々の進む道は険しい。未知の領域に踏み込むことは、多くのリスクと困難を伴い、時に深い谷底で彷徨うこともある。しかしその高い壁を乗り越えたとき、確実に、見える景色が変わる。この手で生み出す船が、人々の暮らしを支え、世界の未来を切り拓く。  
Be a Challenger ここには、自分にしかできない仕事がある。

# BE A CHALLENGER

挑戦者たれ!



## TOP MESSAGE

ごあいさつ



代表取締役社長 榎垣 幸人

当社は2015年今治造船グループに加入し、多度津造船株式会社として発足いたしました。造船専門メーカーとして豊富な実績と経歴を元に、環境に優しく、より安全な海上輸送を命題としながら、海洋新時代の輸送システムを探索しております。撤積運搬船をはじめ、自動車運搬船、チップ船等毎年多くの新造船を建造、豊かな社会の発展に貢献してまいりました。これからも、新しいチャレンジ精神で更なる高みを目指し、次世代に向けた造船の可能性に挑戦し続けてまいります。

## COMPANY PROFILE

会社概要

商号	多度津造船株式会社
英語表記	TADOTSU SHIPYARD CO., LTD.
所在地	〒764-8503 香川県多度郡多度津町東港町1番地1
設立	平成25年3月27日
資本金	1億円
代表者	代表取締役 榎垣 幸人
社員数	1,200名(協力工も含む)
事業内容	船舶製造業
工場面積	敷地:400,000m <sup>2</sup> / 建物:86,000m <sup>2</sup>

## COMPANY HISTORY

会社沿革

1973	● 操業開始
2015-01	● 今治造船グループ参入
2015-04	● 400Tジブクレーン設置
2015-06	● 400Tジブクレーン設置(2基目)
2017-01	● 東岸棧橋延長
2017-02	● 移動式建屋設置
2017-11	● 北岸ドルフィン増設



LNGを燃料とする自動車運搬船

従来のPCC(自動車専用運搬船)はパナマ運河の通行制限により、船幅が32.20mに抑えられていましたが、2016年6月に新パナマ運河が開通したことにより船幅が49mまでに拡張されました。それに伴いPCCも大型化することとなりましたが、日本の自動車の積出港では全長が200m未満の制限があります。その対策として弊社は長さを抑えて船幅を広げる船型を開発しました。制限内の全長をそのままに船幅を37.20mに広げることにより、普通車の積み台数を国内最大となる7,500台まで増やすことができました。また、トラックやトレーラー、バスなどの大型の車両も積載できる構造となっています。積載する自動車は船尾と中央部の右舷側に設備されたランプウェイから自走で船内に入り各デッキ間を結ぶ船内ランプを使用して効率よく格納されます。また、現在、地球の温暖化が大きな課題となり、CO<sub>2</sub>排出量規制が世界の重要テーマとなっています。従来燃料としていた重油から窒素や硫黄の成分がほとんど含まれないLNG(液化天然ガス)を燃料とするPCCの開発が必要となってきました。LNGは沸点(液体から気体になる温度)がマイナス170度以下の超低温なのでその管理や制御などに高度な技術が必要となります。弊社では先んじて、このPCCの建造に挑戦することになりました。



先輩社員からのメッセージ

# MESSAGE

01  
interview

組立チーム  
垣見 祥吾  
2010年入社／香川県出身



## 船に乗る側から造る側に

高校は水産高校だった。研修で2か月船に乗った時の船酔いの厳しさに挫折。でもなにか船にかかわる仕事がしたかった。学校に来ていた求人票を見て、造船に興味を持ったという。船に乗る側から船を造る側に！現在は組立チームで品質のチェック、工程管理を行っている。いかに作業者の能率をあげスムーズに仕事を進められるかが課題。まだ独自の垣見君。将来は家庭を持ち、仕事も、家庭人としても一人前の男になりたいという夢を語ってくれた。平凡であるようだが、男としての強い決意を感じさせてくれた。



04  
interview

外業チーム  
明石 武  
2008年入社／岡山県出身



## 自分たちが造った船が進水した時の感動

岡山から香川の大学へ、もともとものづくりに興味があったこともあり、巨大な船を造っている造船の世界に入った。現在は工作グループ外業チームに所属。組み立てられたブロックを総組みし、それを搭載して船の形にし、最後進水までの工程管理、予算管理、品質管理を行っている。時間的に非常にタイトな中で他部署との連携、職人さんとのコミュニケーションをとりながら工程の調整をしていくのは結構大変だけど、船が進水した姿を見るとなんとも言えない達成感があるという。これからも会社とともにどんどん新しいことに挑戦していきたいと話してくれた。



02  
interview

船装チーム  
山本 敬士  
2017年入社／香川県出身



## 世界で通用する造船技師に！

学生時代にバイクでしまなみ海道をツーリングした時に多くの造船所があるのを見て自分もこんな大きなモノを作る仕事がしたいと思っていた。就活の際に地元でも大きな造船会社があることを知り、入社させてもらった。現在船装チームに所属していて艦装品のとりつけ試験、海上試運転引き渡しまでの工程を担当している。船は決して一人で造ることはできない。他部署との連携が大切で、多くの人たちとかわりながらひとつの大きなものを造ることにすごくやりがいを感じている。世界で通用できる造船技師になりたいと夢を語ってくれた。



05  
interview

総務勤労チーム  
今井 美琴  
2018年入社／香川県出身



## 自己成長しながらチームを支える

就職活動で工場見学に来た時、緊張したけど会社の人たちがとても優しく案内してくれたと話すと今井さん。「すごく敷地が広くてびっくりしました。そして完成が近い建造船の大きさにさらに驚きました。こんな大きな仕事をしている造船業に興味を持ち入社させていただくことになりました。」現在、総務勤労チームに所属していて、支払いの業務、来客対応など仕事は多岐に亘る。最もやりがいを感じるのは船が完成した際に行う式典の業務だ。セレモニーの準備からスケジュール管理、お土産やホテルの手配、そして当日の対応。やり終わった時は大きな達成感を感じるという。これからもこの仕事をずっと続けていきたいと笑顔で話してくれた。



03  
interview

機電装チーム  
田尾 進之介  
2018年入社／香川県出身



## 巨大な船を造ることにロマンを感じて

祖父、父が造船の仕事に就いていた。たくさんの人々とともにスケールの大きなものづくりをしていることにロマンを感じていた。自分もやはり造船の仕事がしたかった。現在は工作グループ機電装チームに所属している。船の心臓部である機関部で、進水してから完成して引き渡すまでの工程を管理していて責任のある仕事。世界のどこかで自分たちが造った船が航行している。いつかその船と出会うことができたらと夢んでいる。近く結婚する予定！仕事もプライベートも充実していて絶好調！



## EMPLOYEE BENEFITS

### 福利厚生

独身寮 寮費 5,500円/月  
社員食堂  
給食制度 本人負担 1食200円  
年間休日 土曜日、日曜日、祝日、  
夏季休暇、年末年始  
昇給 年1回 毎年4月  
賞与 年2回

### 社会人生活をバックアップ



独身寮外観



独身寮内観



食堂



本社社屋



多度津造船の船

# SHIP LINEUP

自動車運搬船

Pure Car Carriers



7,500 CARS TYPE VEHICLES CARRIER  
(L)199.98×(B)37.2×(D)38.79

鉄鉱石専用運搬船 / ばら積み運搬船

Ore Carrier & Bulk Carriers



183,000M.T. D/W TYPE BULK CARRIER  
(L)291.95×(B)45.0×(D)24.7



81,000M.T. D/W TYPE BULK CARRIER  
(L)228.94×(B)32.24×(D)20.0



63,000M.T. D/W TYPE BULK CARRIER  
(L)199.98×(B)32.24×(D)19.15

チップ運搬船

Wood Chip Carriers



3,600,000 C.F. TYPE CHIP CARRIER  
(L)199.96×(B)32.24×(D)22.9

国内シェアNo.1、世界トップクラスの  
今治造船グループの一翼を担う。

当社では、2015年より今治造船グループに加入し、撒積運搬船をはじめ、自動車運搬船、チップ船等毎年多くの新造船建造をしております。引き続き、時代のニーズに応える船造りを続けて参ります。

多度津造船はこんな会社

# OUTLINE



# 多度津造船株式会社

TADOTSU SHIPYARD CO., LTD.

〒764-8503 香川県仲多度郡多度津町東港町1番地1  
TEL(0877)33-2111 FAX(0877)33-1439  
<https://www.tadotsuzousen.com>

THE IMABARI SHIPBUILDING GROUP